

研究開発プログラム全体の体制図 (ImPACT研究開発推進コア)

ImPACT研究開発推進コアの役割

当該プロジェクトを成功させる上で重要視すべきこと

ImPACT研究開発推進コアが個別課題、もしくは各課題の要素に関して研究開発先と適宜フィードバックを実施してマネジメントを行う。場合によっては、同時並行で達成見込みのある研究先にも参画してもらい、リスクヘッジする。これらのアクションについては、研究開発先の状況をリアルタイムでウォッチし、オンデマンドで他の機関との連携をはかるよう指示したり、他の機関に委託したりするなどして、日常的にオンデマンドで小規模のコンペや連携が生じるよう全体をマネジメントする。

どの程度重要視するか？それはなぜか？

重要視する点はプロジェクトを成功させるためのマネジメント体制・方法なので、最重要視する。

ImPACT研究開発推進コアの構成

ImPACT研究開発推進コアは、運営会議のメンバー、および、当該プロジェクトの参画機関のメンバーからなる組織である。運営会議は、PMを中心とし、PM補佐（研究マネジメント担当、運営担当）、各プロジェクトにおけるプロジェクト補佐・有識者等からなるコアメンバーで構成される。

当該プロジェクトに適した選定・評価・管理方法

・・・ (次ページ)

ImPACT本来の行動である、「研究開発現場の mindset の変換、内向き志向からチャレンジ精神への大転換、自前主義からオープンイノベーションへの転換を目的とした『実現すれば社会に変革をもたらす非連続的なイノベーションを生み出す新たな仕組み』」を生み出すため、挑戦的な課題達成のアプローチをとる。

